

武蔵野市小・中学校において宿泊体験活動を通して育成を目指す資質・能力の系統表

自他の幸せと豊かな社会を実現する未来の創り手の育成

自然や文化を愛する心

○…資質・能力の内容 ●…セカンドスクールにおける具体的な活動例

中3

○歴史・伝統文化に触れることで、郷土や国を愛する心、環境・文化保護の心情を深める。

中1

※2

○OSDGsの視点をふまえ、環境保全や自然と人が持続的に共生する大切にする心情を育む。

○体験から技術・産業の発展を考え、自然と共生する生活の工夫や知識について理解を深める。

●農業体験、環境学習

小6

○豊かな自然や伝統文化に触れる体験を通して、自然環境や長く受け継がれてきたものを守ることの重要性に気づき、大切にしようとする。

小5

○自然に触れる体験を通して、自然に親しもうとする。

○体験した自然について理解を深める。

●登山、農業体験、生物観察、箸づくり、郷土食

小4

○自然に触れる体験を通して、自然に親しもうとする。

○体験した自然について理解を深める。

人間関係形成 社会参画

※1

社会参画

○日常と異なる環境や集団生活、優れた伝統文化の保護・継承から学び、学校生活や学習活動における合意形成や参画を行う。

○自分と異なる考え方や感性に触れ、多様な考えを生かした社会性を育む。

○市民性として地域活性化に参画しようとする態度を育む。

●現地の課題調査、現地中学校との交流、チームビルディング

○日常と異なる環境の中で、集団生活の在り方やよりよい人間関係の形成について考え、体験活動や日々の生活に生かす。

○集団生活の在り方やよりよい人間関係について考え、実行する。

○人間関係を深める中で、自己を見つめ、関わった方に対する感謝の気持ちを育む。

●現地の方や学校との交流、分宿での仲間づくり

人間関係形成

○宿泊体験活動を通して、集団生活に必要な知識や技能を身に付ける。

○友達や現地の方との関わりを通して、他者とよりよい人間関係を築こうとする。

課題解決能力 情報活用能力

○伝統文化の保全や活用など社会の中から課題発見・設定をし、効率的な情報の収集・蓄積、深い分析や確かな根拠付けを行い、新たな考えや価値を効果的に発信・実行する。

○持続可能な地域活性化に向けた取組の調査・研究を通して、新たな考えや価値を創造する。

○体験を通じた課題解決の手だてや情報の活用方法をファーストスクールに生かすことができる。

●現地の農林水産業、伝統、観光に関する調査

○既習の学習事項から課題発見・設定をし、必要な情報の収集・蓄積、事象の比較・関連付けを行い、相手や目的に応じて表現する。

○訪問する地域における課題発見・設定をし、情報を整理して、分かりやすくまとめ・表現する。

○自然や地域の特性について、武蔵野市との比較しながら課題解決することができる。

●事前の調べ学習、宿の方や4年生に向けた報告会

○興味・関心のある課題を設定し、調査・体験を行って、情報を整理してまとめる。

○体験や周りの人との交流から新たな課題をもったり、質問や感想を伝えたりすることができる。

【参考資料】

・令和6年度各小中学校（プレ）セカンドスクール実施計画書
・学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編、総合的な学習の時間編
・第四期武蔵野市学校教育計画中間まとめ

・武蔵野市長期宿泊体験活動実施要綱
・武蔵野市民科教員向け手引き「改定版」

※1…3つの項目は、武蔵野市長期宿泊体験活動実施要綱の目的を参考に作成した。

※2…太枠は、セカンドスクール・プレセカンドスクールを示した。